



優しいお子さんが育つ

友達に優しくできる子の親御さんは例外なく挨拶が上手です。40年近い教師生活の中での実感です。

先週のある日、車で交差点にさしかかったとき、親子連れが横断歩道の手前で立っていました。私は一時停止して「どうぞ」と手で合図しました。お母さんは会釈して少し小走りで渡って行きました。

2日後の朝、やはり交差点で、集団登校の子ども達と付き添いのお母さんが信号が変わるのを待っていました。信号が変わり、私が左折の途中で停止して子ども達が渡り終えるのを待っていると、子ども達もお母さんも前を向いて通り過ぎて行きました。

お母さんがちょっと会釈するだけで子ども達も変わってくるのになと思いつつながらアクセルを踏みました。

b y 南の老アンパンマン

第10回 JFA 関東ガールズ8大会

東京都大会予選リーグ グループD (4/21 緑が丘小)

○南八王子 対 堀之内 4-0 (前半3-0)

○テーマ 積極的にゴールを狙う

得点者 片寄Mさん、片寄Yさん、井上さん、OGさん

新学期最初の試合でしたが、全体的に落ち着いたプレーが目立ち目指すサッカーができました。目指すサッカーとはDFラインで安易に蹴らずにつなぐサッカーのことです。目的もなく蹴るといのは相手にボールを与えることを意味します。運良く味方がそこにいたらチャンスになるのに・・・というサッカーでは上は目指せません。1年を通じて、そういうサッカーができるようにしたいと思っていますのですが、この試合ではある程度出来ていました。

○南八王子 対 エスペランサ 3-1 (前半0-0)

○テーマ 積極的にゴールを狙う

得点者 片寄Yさん(3)

シュートチャンスは多く作りますが、強豪に前半は上手く守られてしまいました。でも迫力のあるスピーディな攻撃をたくさん見ることができました。

一方守備は相手の速いプレスに苦しみ、蹴り返してしまう場面が見られましたが、つなごうとする意識は感じましたし、蹴った場面はそれなりに仕方のない判断だったように思います。パスを出す方も受ける方ももっと判断を速くして、動き出すことが必要だと思います。

後半はワントップで出場した大塚さんがチャンスを作ります。1点目となった片寄Mさんへのスルーパスは、パスのタイミング、スピード共に最高のボールでした。また3点目の得点も大塚さんの左サイドからの速いクロスからでした。

課題としては視野がまだまだ狭い印象です。ボールを持っていない時(オフ・ザ・ボール)に、どれだけ周囲を見ることができて、次につなげる準備ができるかが重要です。

もう一つはシュートの精度。枠をとらえることは当然ですが、浮かないゴロ目のシュートを打てるようになりましょう。

(4/30 緑が丘小)

○南八王子 対 小平八小 7-0 (前半4-0)

○テーマ 積極的にゴールを目指す、1対1で負けない(取られたら取り返す)、むやみに蹴らない



得点者 片寄Yさん(4)、大塚さん、井上さん、漆間さん

午前中しっかりと練習をしてしまったので、体力が少し心配でしたが、南八少女らしい攻守の切り替えの速さで相手を圧倒しました。ただし7得点が不満なのではありませんが、攻撃が少し雑だったように思います。漆間さんの得点は片寄Yさんのクロスバーを叩くシュートの跳ね返りを上手く決めた素晴らしいゴールでしたが、それよりもキーパーをかわして空きのゴールを外した場面の方が記憶に残っています。恐らくゴールを見ていなかったからだと思います。

片寄Yさんは4得点でしたが、素晴らしいコンビネーションでサイドを崩した後の肝心のフィニッシュを数回外した場面の方がすごく目立ちました。最後の集中力が足りなかったように思います。

でも前半を通じてベンチの選手を次ぎ次ぎと交代していましたが、誰が出ていてもペースが変わることはなく、4年生以上全員が確実に実力をつけてきていると感じることのできる試合でした。

○南八王子 対 杉九 1-0 (前半0-0)

○テーマ ゴールを目指す、1対1で負けない(取られたら取り返す)、むやみに蹴らない

得点者 片寄さん

恐らくこのグループ最強かもしれません。きさらぎ杯中央大会でも辛勝だった相手に、慎重に臨みました。結果から言ってしまうと、相手キーパーの堅守に苦しみましたが、後半終了5分前に片寄Yさんの技ありシュートが決まり勝利しました。

でもこの試合では、実はみんなの成長ぶりに驚きました。今まで蹴るサッカーをする相手はとても苦手でした。この試合でもキーパーからの大きなパントキックやコーナーキック並の飛ぶスローイン、そしてことごとくクリアではじき返してくる相手と大柄なプレーヤーに手間取りましたが、2本打たれたミドルシュート以外に決定的場面を与えることはありませんでした。

センターバックの小沢Mさんとサイドバックの矢久保さん、片寄Mさんは的確なポジショニングで1対1で強いところを見せてくれましたし、単にはじき返すのではなく味方につなぐサッカーではほぼ完璧な守備を見せてくれました。そして2本打たれたミドルシュートはキーパーに入った村田さんのしっかりとセーブしてくれました。



(5/5 宮上小)

○南八王子 対 国立 2-0 (前半1-0)

○テーマ 積極的にゴールを目指す、1対1で負けない(取られたら取り返す)

得点者 片寄Yさん、大塚さん

出足の早い相手に立ち上がりは苦しみました。ボールを止める、蹴るといった基本的なことが雑だったことも原因ですが、攻守の切り替えが遅く得意の早い攻撃ができないばかりでなく、前がかりになった時にボールを奪われるとMFの戻りが遅くヒヤッとする場面がありました。

でも前回の杉九戦と同じで蹴られても慌てず対処できるようになったことは大きな成長でした。またキーパーの飯島さんはようやく試合に慣れてきたのか、足がものすごく動くようになり守備範囲が広がったことも大きいと思いました。

前半12分に片寄Yさんのミドルシュートで先制し、気持ち的には楽になったのか、後半は一方向的にうちのペース。特に右MFに入った井上さんのドリブル突破が有効で何度も切り崩しチャンスを作ります。

後半13分に同じように右サイド深いところから井上さんが折り返したところに、大塚さんが上手く走り込んでゴールを決めてくれました。綺麗なゴールだったと思います。

b y 飛田コーチ